

愛知大学 3つのポリシー（2024年度以降）

■大学院 経済学研究科 経済学専攻

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

【修士課程】

経済学研究科（修士課程）では、学則第6条の2に示す人材の養成を目指します。この目標に沿い、愛知大学学位規程に基づき、修士課程に2年以上在学し、履修要項に定めた科目区分毎の履修要件等と修了必要単位数32単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び最終試験に合格することを学位授与の要件とし、以下の資質、能力及び知識を身につけた学生に「修士（経済学）」の学位を授与します。

1. 現代の経済社会について広い視野からの学識を修得している。
2. 経済学に関する高度な知識と技能をもって分析・研究しうる能力を修得している。
3. 知識人・職業人として、地域・国際社会に貢献できる能力を習得している。
4. 経済に関する専門性を要する職業等に必要能力を修得している。

【博士後期課程】

経済学研究科（博士後期課程）では、学則第6条の2に示す人材の養成を目指します。この目標に沿い、愛知大学学位規程に基づき、博士後期課程に3年以上在学し、履修要項に定めた科目区分毎の履修要件等と修了必要単位数8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格することを学位授与の要件とし、以下の資質、能力及び知識を身につけた学生に「博士（経済学）」の学位を授与します。

1. 経済学分野の研究者として、自立して研究活動を行うに必要な高度な研究能力と基礎となる学識を修得している。
2. 高度専門職業人として、より先端的な技能と研究能力及びその基礎となる豊かな学識を修得している。
3. 研究者・高度専門職業人として、地域・国際社会に貢献できる学識を修得している。